

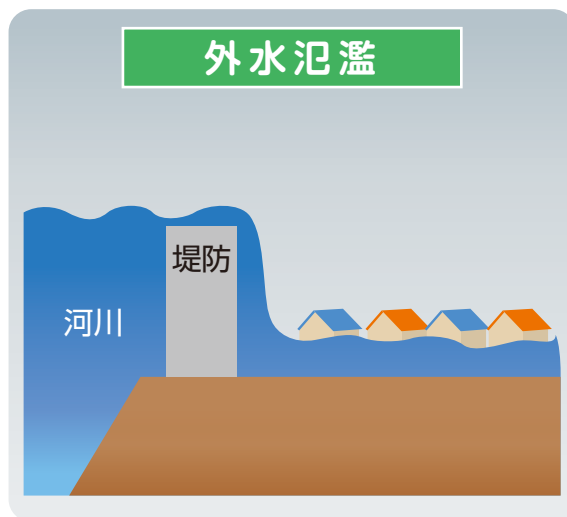
浸水対策事業 について



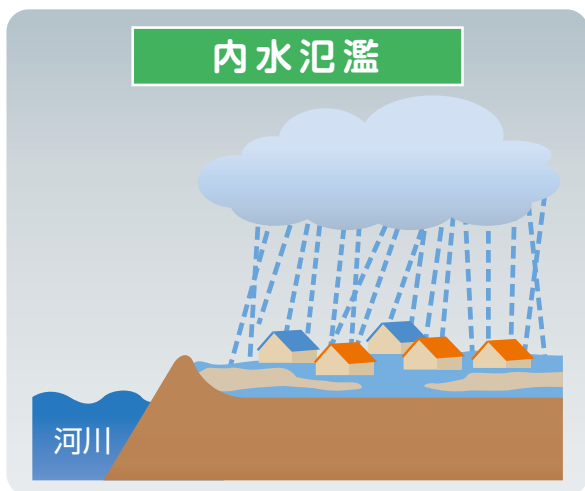
今年7月に発生した大雨では、市内各地で浸水被害を受けました。浸水被害には、河川から水が溢れたり、堤防が決壊することによって発生する「外水氾濫」と、市街地に降った雨が、水路等の排水能力を超えた場合や排水先の河川等の水位が高くなった際に発生する「内水氾濫」があります。

下水道と聞くと、ご家庭から排出される生活排水などの「汚水」を思い浮かべる方が多いと思います。上下水道局では「内水氾濫」の軽減を図るため、浸水対策事業にも取り組んでおり、浸水が頻繁に発生する地域においては、雨水渠^{※1}の布設工事を行っています。

しかし、雨水渠等の施設整備には、時間がかかります。また、近年では比較的短時間に集中的な大雨が頻発しています。このため、下関市では、下水道の区域を対象に、内水による浸水が想定される区域や浸水時の避難場所を示した「内水ハザードマップ」を作成しています。



下関市 防災情報 



※1 雨水渠…下水の排除方式には「分流式」と「合流式」があり、下関市では汚水と雨水を別々の管で集め処理をする「分流式」を採用しています。雨水渠は雨水を集める管のことです。